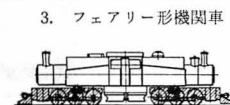


枠いずれに対しても遊動し得る。シリンダはいずれも車体中央であり、後台枠に高圧、前台枠に低圧シリンダを置く。

4 フェアリー (Fairlie) 形

2 個のボイラを火室の部分で背中合わせにつないだ形になっている。したがって石炭は横から投入する構造になっている。シリンダは車体の前後部にあり、その他の点はメイヤー形と同じである。



5 ガラット (Garra) 形

前後に 1 組ずつのシリンダおよび動輪群が台枠に取付いており、その上に石炭または水がのせてある。

この 2 組の台枠に橋をかけたように第 3 の主台枠を置き、その上にボイラおよび運転室をのせている。ボイラは車輪のないところにあるので大きくできる。また車両の前後がほぼ対称であるため前後進が自由であり、方向を変えるため転車台にのせる必要がないので、長大な機関車とすることができる。

(高桑五六)



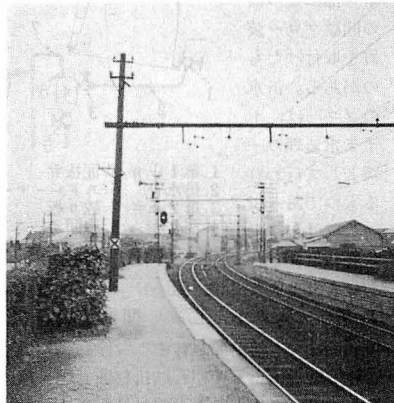
4. ガラット形機関車

かんせつちようがほうしき 間接吊架方式 (英) indirect suspension system

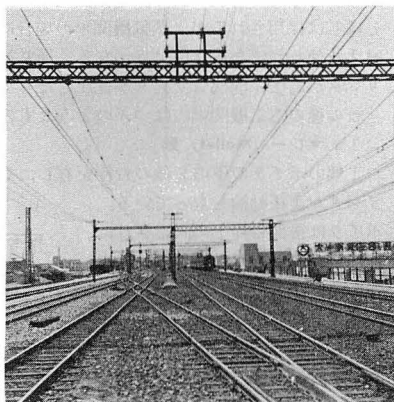
電車線を支持する方式の一種で、電柱にとりつけた支持鋼、支持線などに他の支持線などを介して電車線を支持する方式である。

高速の電車や摺板(しゅうばん)式の集電装置を使用する電気鉄道などに使用される。この方式の代表的なものとしては、シンプル・カタナリー式とコンパウンド・カタナリー式がある。

この方式は建設費は多少かかるが、高圧電気が使用できる、高速度で走れるなどの理由でわが国の電気鉄道の大部分はこの方式を採用している。この方式では、電車線のたるみを小さくするため、電柱径

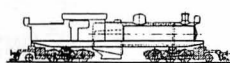


1. シンプル・カタナリー式



2. コンパウンド・カタナリー式

2. メイヤー形機関車



3. フェアリー形機関車



間は 40~80 m 前後となっている。——架線方式。(竹淵立男)

かんせつてつどう 官設鉄道 国家が敷設した鉄道をいい、私設鉄道と対立する言葉であるが、明治 39 年鉄道国有法が公布されてから国有鉄道という言葉に代っていった。(福田策次)

かんせつてつどうかいけいほう 官設鉄道会計法 明治 23・3・17 法律第 2 号をもって制定公布された、官設鉄道事業の特別会計制度を設定した最初の法律。第 1 条には「鉄道事業ヲ経営スルタメ、固定資本据置運転資本ヲ置キ営業上ノ収入及其附属雑収入ハ鉄道事業ノ費用ニ充ツルコトヲ許シ、特別ノ会計ヲ立テシム」とあり、また同法第 3 条には「鉄道事業ニ要スル費用固定資本ノ維持修理及補充費並ニ損失金ヲ鉄道事業ノ損失トス」とある。この第 3 条で明らかとなり、特別会計に属する歳出は、営業に従事する職員、職工、人夫、鉄道財産物件の維持・修理・補充、材料素品、汽車機械、運転用品、営業場備品、消耗品に関する経費にかぎられ、管理費用たる鉄道庁長官および官房に関する経費は一般会計に属していた。——帝国鉄道会計法。(森島省吾)

かんせん 幹線 (英) trunk line 鉄道網中の主要線路。現在国鉄ではどの線が幹線であるかを明確に示したものはない。東海道本線、山陽本線、鹿児島本線、北陸・信越・羽越・奥羽の 4 本線にまたがる縦横貫線、函館本線、室蘭本線等はわが国の鉄道網上の幹線といえることができる。

国有鉄道線路名称は全国の鉄道を本線と支線とに分けており、線路名称の順位からは本線は支線に対して幹線である。しかしこの線路名称では輸送量の大きい常磐線、高崎線、上越線は東北線の支線となっている。(森 徳寿)

かんそうちんりつ 間送貨率 鉄道貨物運賃制度における例外貨率の一種である。鉄道貨物輸送量には時間的にまた季節的に変動があるために、輸送の閑散な時間や季節を生ずることは避けられない。この閑散な時間や季節の輸送量をできるだけ増加することは鉄道の生産性を増すもので、経営上有利であるから、多少の運賃割引を行っても貨物を誘致することが望ましい。このため各種の運賃割引を行って、閑散な時間や季節の輸送量の谷を埋めることが行われる。間送貨率はこの閑散な時間の輸送量を増加するために、荷主の承諾の下に、鉄道の任意の輸送の閑散な時間を選んで運送することを条件として受託する貨物に適用する割引貨率である。現在の国鉄ではこの貨率は実施されていない。(工藤和馬)

かんつう 貫通 トンネルを両口から掘進して相通じたことをいい、その位置を貫通点という。貫通が間近になると両作業頭(かしら)は連絡を密にし、最後の爆破は探り穴によって位置や厚さを確認して行う。貫通の瞬間に両口の作業員はお互に握手をかわして無事貫通を祝う習慣となっている。(松島 甫)

かんつうせいどうき 貫通制動機 (英) continuous brake 機関車の制動弁の操作または車掌の車掌弁の操作によって、列車を組成した車両の全部に一齐に制動のできる機能を備えた制動機のことである。動力車にあっては空気圧縮機、空気溜、制動弁、分配弁、制動筒、基礎制動装置および制動管を備え、客貨車にあっては制動管、基礎制動装置、動作弁、補助空気溜、制動筒を備えたものである。(三和達忠)

カント (英) cant 曲線部の外側軌条を内側軌条より高くする度合をいう。列車が曲線を速い速度で通過すると遠心力が大きくなり、この力によって車両は、軌間外側へ転覆しようとする傾向がおこる。また内側車輪上の重量が減少するために、脱線のおそれがある。よって列車が安全に曲線を通過することができるために、曲線の半径と列車の速度によって生ずる遠心力を